

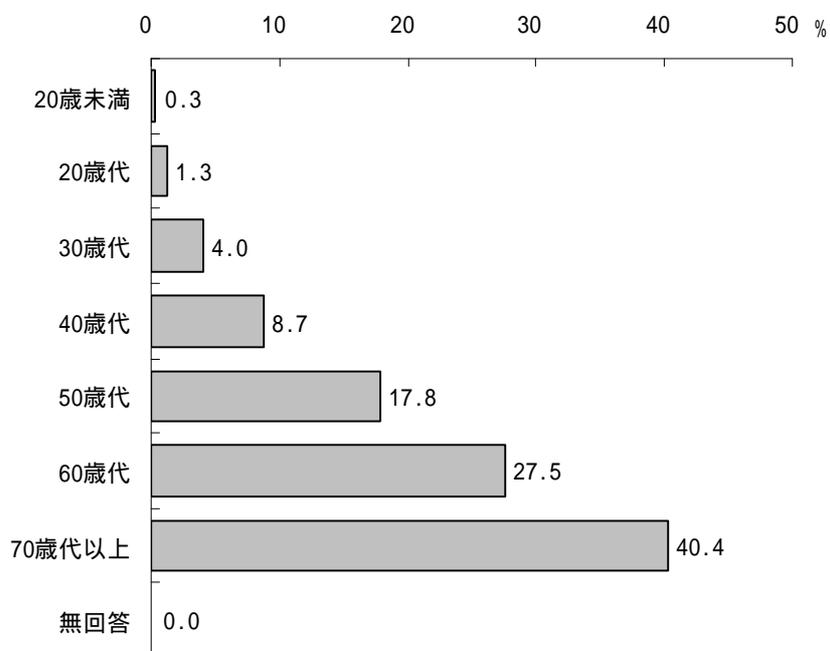
## - 4 精神科病院入院患者調査

### 1. 年齢

A 平成22年11月1日現在の満年齢を記入してください。

年齢は、「70歳代以上」が40.4%と最も高く、次いで「60歳代」が27.5%となっている。

図表 4-1 年齢 (N=2,850)

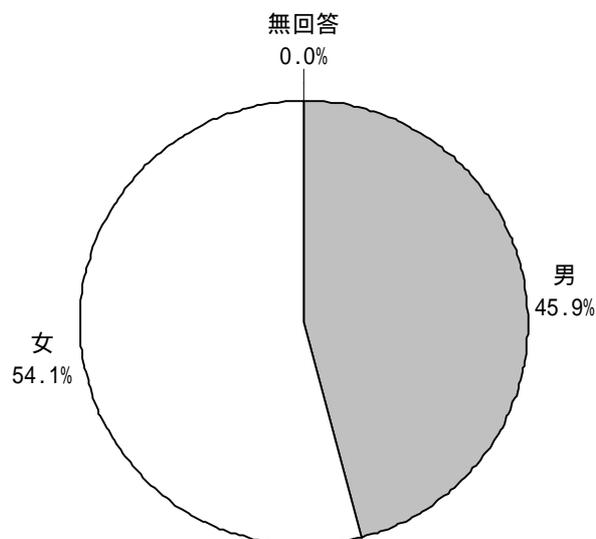


### 2. 性別

B 性別を次の区分により記入してください。

性別は、「女性」が54.1%と高く、「男性」が45.9%となっている。

図表 4-2 性別 (N=2,850)

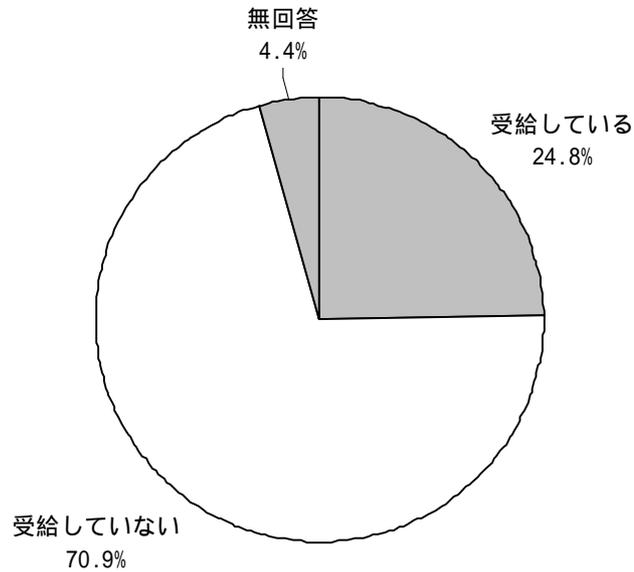


### 3. 生活保護

C 生活保護受給について次の区分により記入してください。

生活保護は、「受給していない」が70.9%と高く、「受給している」が24.8%となっている。

図表 4-3 生活保護 (N=2,850)

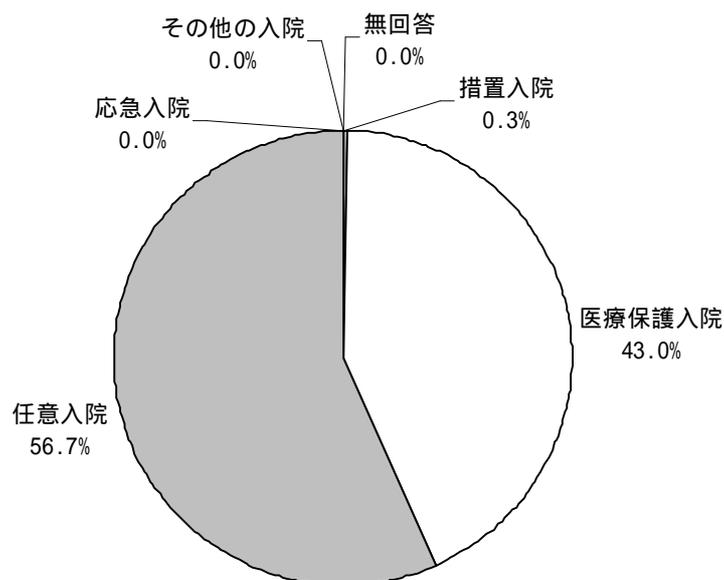


### 4. 入院形態

D 入院形態を次の区分より記入してください。

入院形態は、「任意入院」が56.7%と最も高く、次いで「医療保護入院」が43.0%となっている。

図表 4-4 入院形態 (N=2,850)

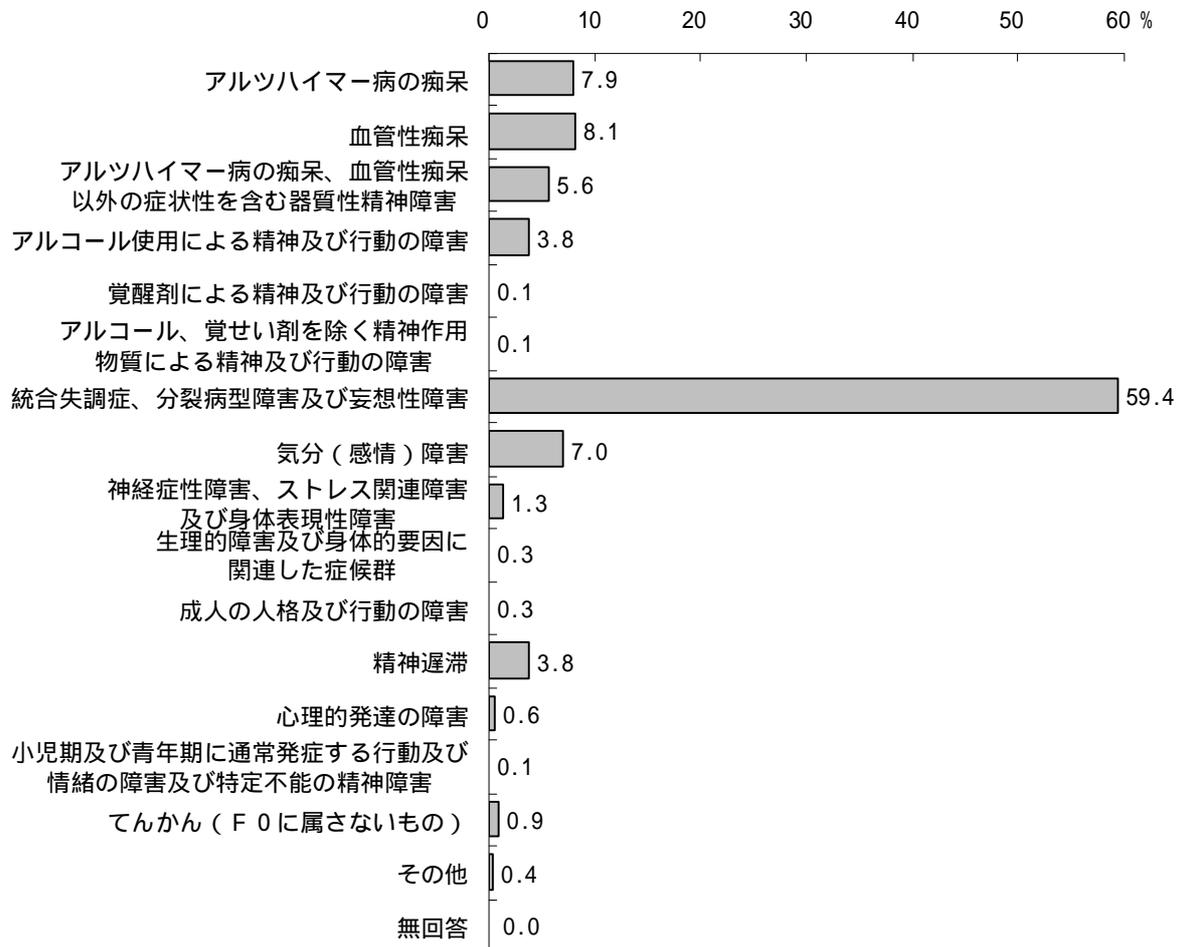


## 5. 疾患名

E 疾患名を次の区分により記入してください。

疾患名は、「統合失調症、分裂病型障害及び妄想性障害」が59.4%と最も高く、次いで「血管性痴呆」が8.1%となっている。

図表 4-5 疾患名 (N=2,850)

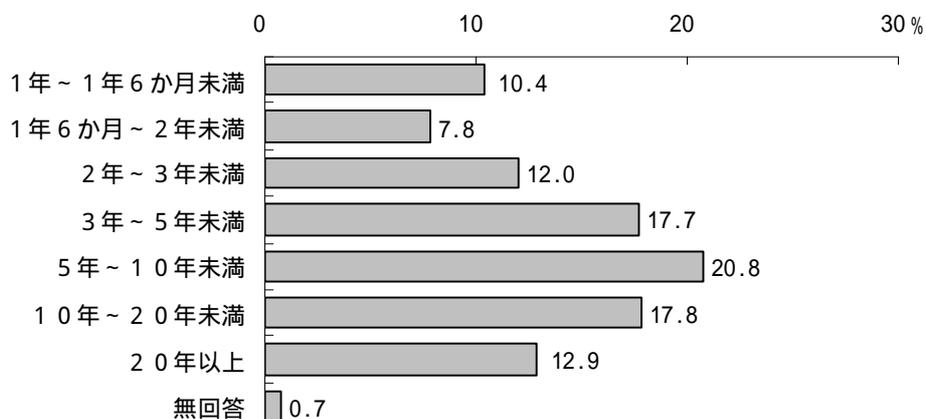


## 6. 在院期間

F 在院期間を次の区分により記入してください。

在院期間は、「5年～10年未満」が20.8%と最も高く、次いで「10年～20年未満」が17.8%となっている。

図表 4-6 在院期間 (N=2,850)

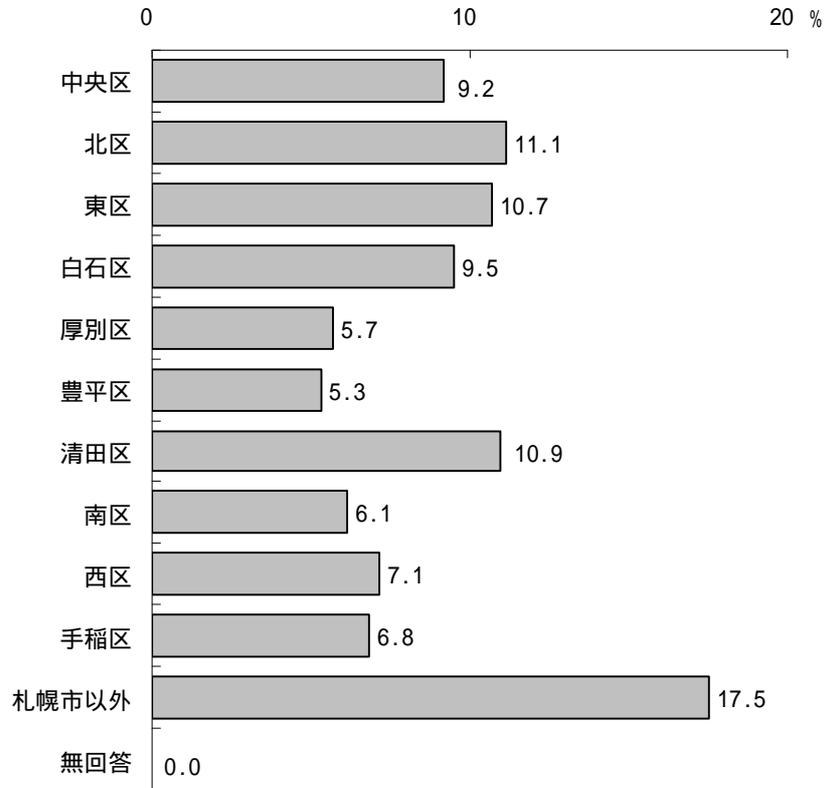


7. 入院時の住所

G 入院時の住所（区）を記入してください。

入院時の住所は、「札幌市以外」が17.5%と最も高く、次いで「北区」が11.1%となっている。

図表 4-7 入院時の住所 (N=2,850)

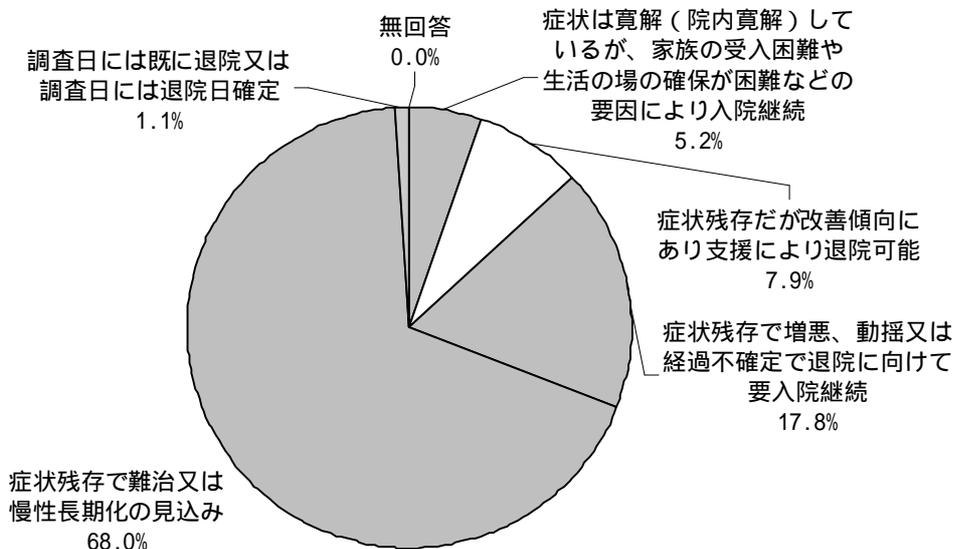


8. 症状

H 症状を次の区分で記入してください。

症状は、「症状残存で難治又は慢性長期化の見込み」が68.0%と最も高く、次いで「症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で退院に向けて要入院継続」が17.8%となっている。

図表 4-8 症状 (N=2,850)



## 9. 退院に向けての要件について

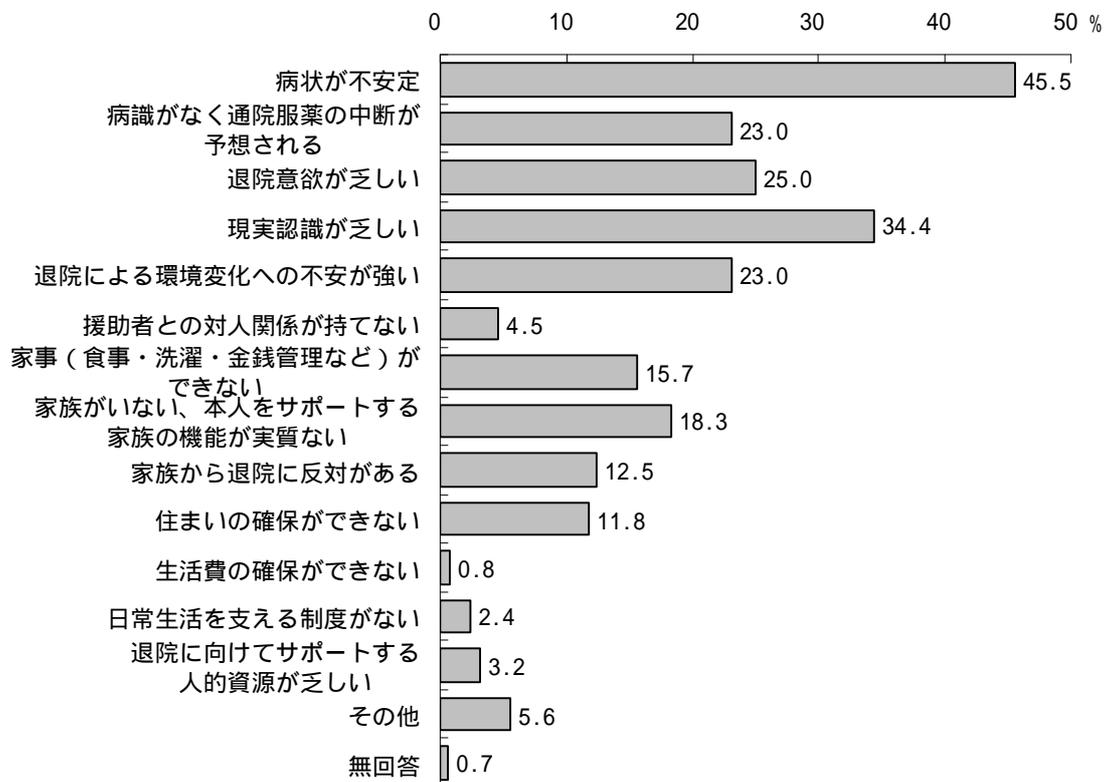
### (1) 退院ができない要因

《Hの回答が1～3の方について記入してください。》

I 退院に向けての課題となっている要因を記入してください(複数回答可)

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」、「症状残存・退院可能」、「症状残存・要入院継続」の人の退院ができない要因は、「病状が不安定」が45.5%と最も高く、次いで「現実認識が乏しい」が34.4%となっている。

図表 4-9 退院ができない要因(複数回答、N=881)



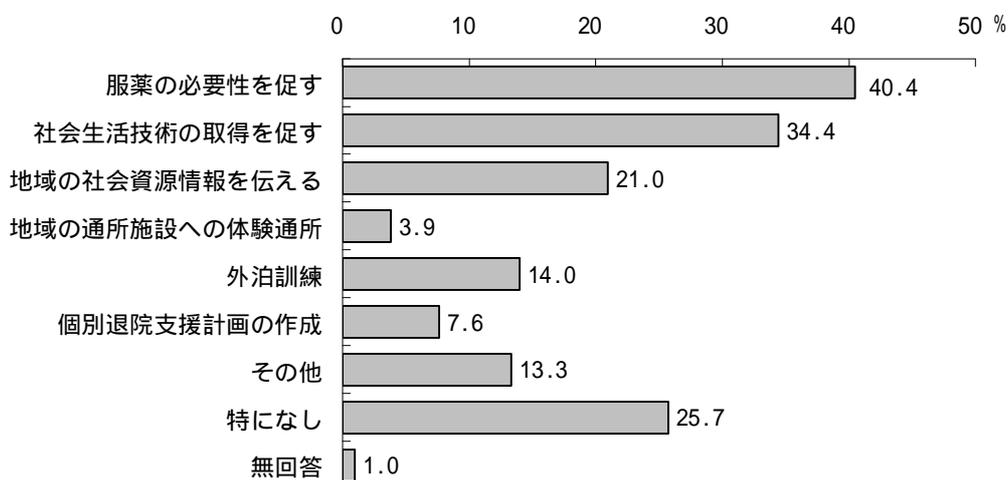
### (2) 退院に向けての支援プログラム

《Hの回答が1～3の方について記入してください。》

J 病院内にて行っている支援プログラムについて記入してください(複数回答可)

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」、「症状残存・退院可能」、「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての支援プログラムは、「服薬の必要性を促す」が40.4%と最も高く、次いで「社会生活技術の取得を促す」が34.4%となっている。

図表 4-10 退院に向けての支援プログラム(複数回答、N=881)



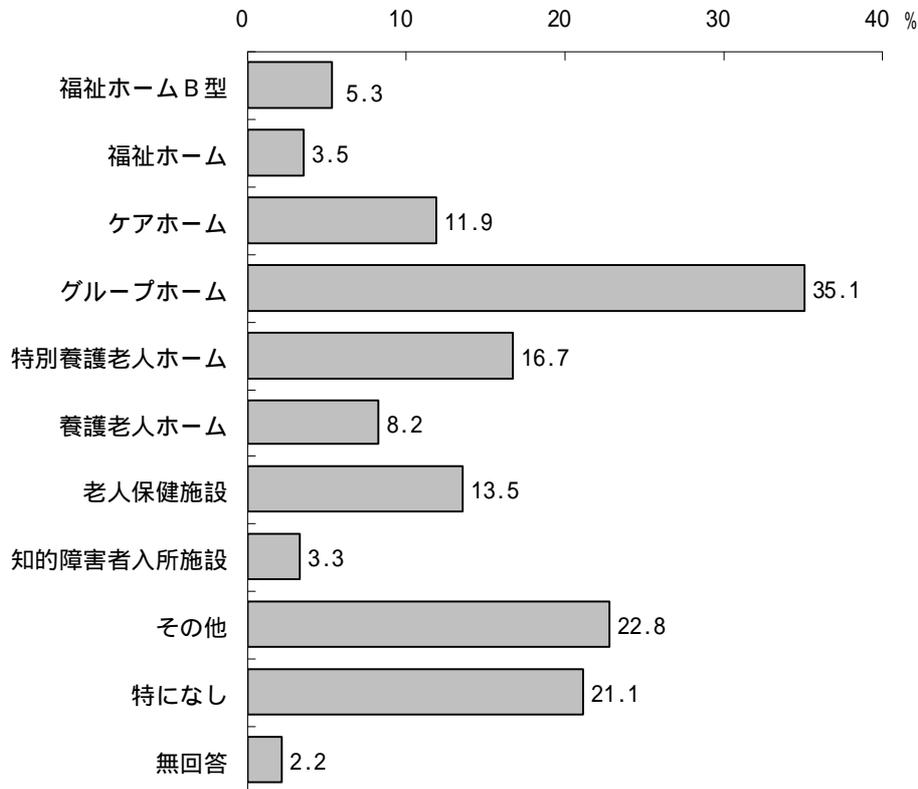
10. 退院に向けての必要資源について

(1) 退院に向けての必要資源【住まい】

《Hの回答が1～3の方について記入してください。》  
 K 退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください(複数回答可)

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」、「症状残存・退院可能」、「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての必要資源【住まい】は、「グループホーム」が35.1%と最も高く、次いで「その他」が22.8%となっている。

図表 4-11 退院に向けての必要資源【住まい】(複数回答、N=881)

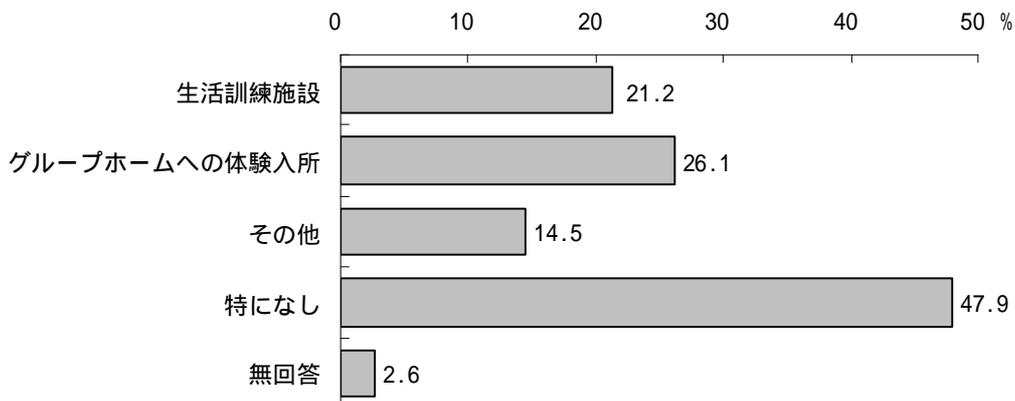


(2) 退院に向けての必要資源【生活訓練】

《Hの回答が1～3の方について記入してください。》  
 L 退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください(複数回答可)

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」、「症状残存・退院可能」、「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての必要資源【生活訓練】は、「特になし」が47.9%と最も高く、次いで「グループホームへの体験入所」が26.1%となっている。

図表 4-12 退院に向けての必要資源【生活訓練】(複数回答、N=881)



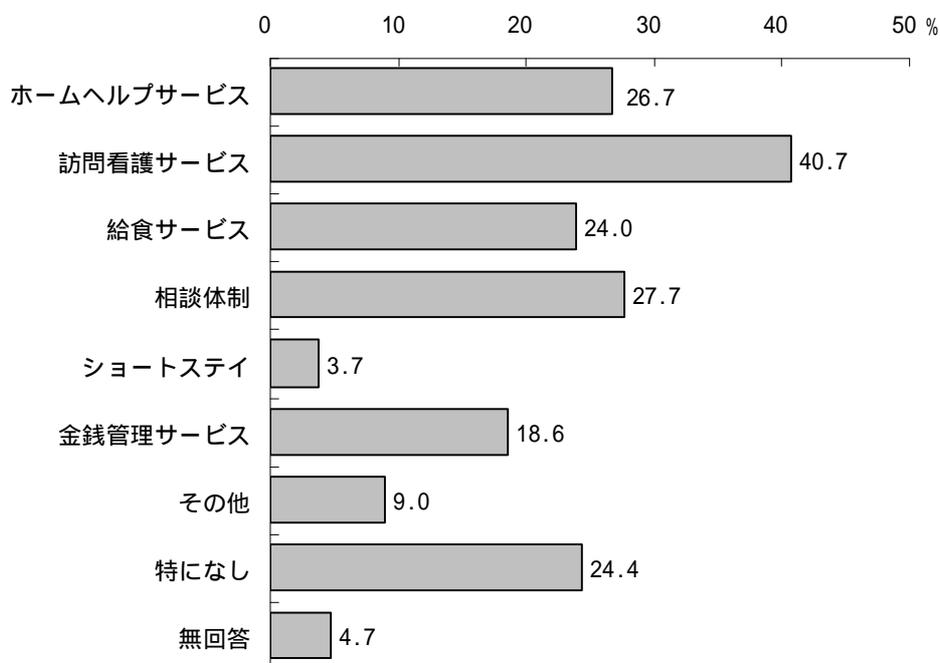
(3) 退院に向けての必要資源【生活支援】

《Hの回答が1～3の方について記入してください。》

M 退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください(複数回答可)

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」、「症状残存・退院可能」、「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての必要資源【生活支援】は、「訪問看護サービス」が40.7%と最も高く、次いで「相談体制」が27.7%となっている。

図表 4-13 退院に向けての必要資源【生活支援】(複数回答、N=881)



(4) 退院に向けての必要資源【活動の場】

《Hの回答が1～3の方について記入してください。》

N 退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください(複数回答可)

症状が「寛解・いわゆる社会的入院」、「症状残存・退院可能」、「症状残存・要入院継続」の人の退院に向けての必要資源【活動の場】は、「デイケア」が43.1%と最も高く、次いで「特になし」が37.2%となっている。

図表 4-14 退院に向けての必要資源【活動の場】(複数回答、N=881)

